

風力発電を通じた豊かな森と海づくり

北海道石狩市（株式会社厚田市民風力発電）

【経緯】

- 市民共同発電所の設置や再エネによる電力の共同購入等、再エネ普及を目的としたNPOを設立
- 風力発電事業の資金調達等のため株式会社を設立

【取組】

- 市民ファンドを活用し、風力等の再エネ事業を実施
- 愛称募集や、見学会の実施等、地域と調和・共生
- 売電益の一部は市の基金に寄付

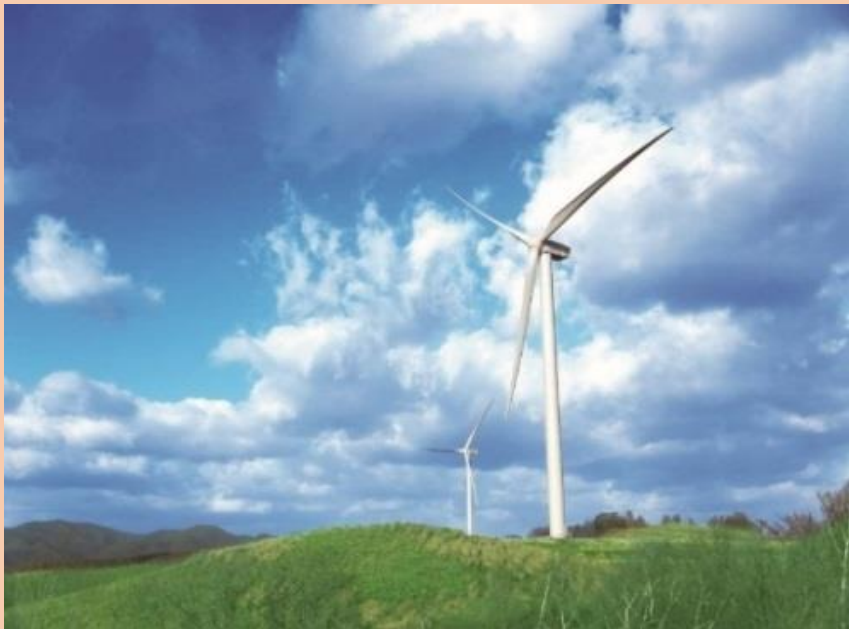
【効果】

- 基金を活用した間伐・植林、環境教育等による地域への貢献
- 風力発電事業を通じ、健やかな森を育て、豊かな海へ

事業スキーム

厚田市民風力発電所

- 出力：2,000kW×2基
- 発電量：約1,000万kWh（約2,700世帯分）



手前：厚福丸（こうふくまる） / 奥：あい風未来
※ 愛称は地元小中学生から募集

売電益の一部を寄付

連携・協力

石狩市

環境まちづくり基金

環境保全及び自然保護に関する施策の推進を目的とした「石狩市環境まちづくり基金」に寄付金を積み立てる。

基金は、「^{くき}ニシンが群来る豊かな海を未来に繋ぐ森づくり」の理念の下、植樹活動、外来種駆除活動などの各種環境施策に活用。



植樹活動



ニシンの群来



外来種駆除（カエル）

環境施策の実施に伴い、地域内に資金が還流

群来：ニシンが産卵のため大群で押し寄せ、海岸が乳白色に染まる様子

売電
↓
電力会社等

融資・出資
↑
返済
銀行等

出資
↑
分配金
個人・事業者（市外在住者を含む）

ポイント① 市・事業者・地域住民が連携・協力した事業スキーム

ポイント② 「風」という地域資源からエネルギーを創出するとともに、そこで生まれた利益の地域還元を図る

<今後の展開>

- 再エネを活用した地域活性化に向けた事業モデルの水平展開を検討
- 再エネ導入による地球温暖化対策の推進と適地誘導による自然環境の保全を両立



石狩市の花「ハマナス」と石狩灯台

【石狩市の概要】人口：5万8千人（令和元年9月末現在）
基幹産業：漁業、農業、流通業、食品加工業
特産品：ニシン、サケ、シャコ、石狩鍋

【発電所の概要】
所在地：北海道石狩市厚田区
発電出力：4,000kW（発電量：約1,000万kWh/年）



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です



お問合せ先：石狩市環境市民部環境政策課

TEL 0133-72-3698